

り

りい【名詞】利子

りい【名詞】理屈、正当なる言い訳

りいする 降りる、幼児語（志（神明、立神、国府））

りいせえ。りいせんかれ 降りなさい 幼児語

りいりい【名詞】こおろぎ [会話] リイリイ言うな（のは）こおろぎの事やねえんかい（事で有りませんか）、リイリイな（が）鳴く言うて。リイリイな（が）鳴いて来た、秋やなあ（だ）言うて。

りき【名詞】力 粘り強さ 力量 [会話] あのひた（人は）リキな（が）有って言うて、力な（が）有る言う事やなあ（です）。あの人 リキな（が）あんなあ（有る）言うて、そして すもとり（相撲取り）、力士や（だ）言うやんかいなあ（言います）。

りきがん【名詞】肉眼 [会話] 眼鏡かけんと（掛けずに）底い（へ）いて（行って）めえとんのかい（見えているのですか）言うて、めえとんねけど（見えているのだが）わがとな（自分の）リキガンで見ると キラキラして そげん（そんなに）はつきりとは 判らせん（判らない）。リキガン わがとな（自分の）めえ（目）だけで 肉眼 のことリキガン言うた（言いました）。

りきむ【自マ五】 1) 威張る えらそうにする。 2) 息を止め腹に力を入れる。 3) 努力する。励む。（員）[会話] ② リキム言うな（のは）力入れて、いきずむ（息詰む、とめる）言う事や、リキム言うのなあ（のです）。リキム言うのを いきずんで、屁たれたたれ（してしまった）、しょんべ（小便）ちびったたれ 言うて、こお（子）もおける（産む）時でも いきずめ言うやんかい（言います）。 ① えらっそおに（偉らそうに）しとんの（して居るのも）えらっそぶつとんのおを（偉らぶつて居るのを）リキンドテ（で居て）言うて 昔や（は）あやまあ（彼は）行き過ぎとて（ていて）生意気で言うて あのひた（人は）いきな人や（だ）いきもいきやれ（だ）生意気やれ（だ）言うて。

りくつき【名詞】文句ばっか言う人。人にさからう人（志（布施田））[会話] へリクツコイテ（言って）ああや（だ）こおや あれな（が）わり（悪い）、これな わり たら（とか）言うて 理屈に合うこた（事は）ええんけどなあ（よいのだが）、

合わん時や（は）あいな（あんな）へリクツコイテ（言って）言うて。理屈ん（に）合う理屈なら ええんけど とんでも無いよおな事言うて へリクツばっか（ばかり）こいて 言うて そいな人を リクツコキ。

りくつなよおて 調子がよくて、順調に物事が進むこと [会話] 仕事な（が）うまい（順調に）事 いたり（行ったり）、金持ちん（に）なったり しても あの家や（は）リクツナヨオテ言うてなあ。調子な（が）よお（よく）なって来る事を 言うんや ろなあ（言うんでしょう）。

りくつぱり【名詞】文句ばかり言う人。人にさからう人。りくつき。[会話] 威張る事なあ（です）。なんでも（なにでも）気張ってなあ こや（これは）こおや（こうだ）ああや（ああだ）言うて 因縁つけて理屈言うのおを なあ、リクツぱり（理屈言い）で あやまあ（彼は）言うてな。理屈ばっか（ばかり）言うて わがと（自分）ばっか 偉いよん（ように）言うて リクツコキで 言うて、よお（よく）言うやんかい（言います）。

りくつぱる（理屈張）【自ラ五】文句を言う さからう

りこお（りこう）【名詞】技術に長じた人 器用 働きのすぐれた事。（南）賢い人 [会話] リコオ賢い 知恵、深で。リコオびんぼ（貧乏）言うて、てぎよお（手器用）な人を リコオななあ、（だ）なんでも（何でも）よお（よく）する人を あのひた（人は）リコオで、そして 賢い人も リコオもん（者）やなあ（だ）言うて、そして（そうして）人に たちまわりよお（よく）行く人を あやまあ リコオで たちまわりな よおて 言うて、人に上手言うて する人なあ（を）、あや（彼は）リコオモンや（だ）たちまわりな（が）ええなあ（よい）言うて。たちまわりな（が）よおても（よくても）手先が器用でも 賢こおても（こくても）それをリコオもん（者）言うのなあ（のです）。

りこおがしこい 手早やくて上手だ [会話] 人より なんでも（なにでも）さきい（へ）する言う事は、リコオガシコインやなけな（でなければ）出来やへん（ません）。

リコオド【名詞】レコオド

りこおにつく 1) 安い値で買い物をする事。(志立神、甲賀)、阿、張、名) 2) 利益になる。

りこおびんぼ【名詞】手先の仕事が上手な人は貧乏だ [会話] 手器用や(だ)言うて、りこおピンボ言うて、利口なもな(手先の仕事の上手な者は) びんぼ(貧乏)する

りこおもん(りかうもん)【名詞】器用な人。賢い人 [会話] リコオモン言うな(のは)賢いのおを(のを)、なん(何)しても器用で偉い人をりこおな人やなあ(だ)言うてな。りこお賢い、知恵深い言うて、手でする仕事もえらいし 頭もええしなあ(よいし)あの ひた(人は)リコオモンやなあ(だ) 言うやんかい(言います)。なんでも(なんにでも)出来る人をなあ なんでも 秀いでとんのを(ているのを)リコオモンや(だ)言うのなあ(です)。リコオモンやなあ(だ)あのひた、なんさしたてて(何させても)言うてなあ、てえ(手)ですんのな(するのが)上手なひた(人は)てりこおな(だ)言うしなあ 口な(が)上手なひた(人は)ロりこおな(だ)言うし 口賢い言うやんかい(言います・言うて有りませんか) 口賢おて ロりこおで言うて、上手ん(に)言う人なあ(です)。口賢おて 言うて、人誤魔かしたる(てやる) よおん(ように)言う人なあ(です)。

りし【名詞】利子。余分な収入。思いがけない収入。儲(南)

りちぎ(律儀)【名詞】【形容詞】義理がたい事 実直である事 律は法律、儀は儀則の義。(大言海) [会話] じみな(落ちついた)リチギなにげ(人間)を、いちがいがい(真正直)な人を じみち(賢実) やなあ(だ)言うて

りちぎもん【名詞】律儀者 正直で義理堅い人 [会話] 律儀言うて いちがいがい(正直一途)な にげ(人間)を リチギモンやなあ(だ) 言うやんかい(言います)。よお(よく)働いて、陰日向なしん(に)働く人を 律儀でよお 働いて言うて 正直な人なあ(です) 正直もん(者) やなあ(です)。

リボンにひく 大きく蝶結びにする [会話] なつとしたら(どうしたら) めえ(目) ひいて(つけて)貰われる かいな(か) おもて(思って)、あつかい(赤い) しごき(細) リボンニヒイテ、しいろい(白い) 前掛けして 紅白で綺麗になんねてや(なるのです)

…りゃ 1) れば 有リヤやるわい。2) れれば、す

る事が出来ればの意。(鈴郡、鈴市、安、南)

リヤカ【名詞】リヤカア(南)

りゆう(理由)【名詞】言い訳 口実 [会話] リユウな(が)有って、よお言うやんかい(よく言います)、わけな(が)有って言うて なんやら(何か) わしらん(私達に) 言われん(言えない)リユウな(が)有って、訳 言う事やろなあ(でしよう)。言われん訳な(が)言うののを、リユウな(が)有って行かれやせんねてや(行けないのです) 言う時な(が) 有るやんかいなあ(有るで有りませんか)。

りゆう【副詞】立派なさま [会話] ビュツとして来た。びゅうとして、何処い(へ) 行くんとい(行くのですか) 言うてな、じっばん(立派に)してなあ 体きちつとしてなあ(服装ととのえて) 頭も刈って ちゃんとして来ると、リユウとして、何処やらい(かに)行くのかして(か) 言うて、びゅつとこいにして 言う人も有るしなあ(有ります)。リユウとしてまあ 何処い(へ) 行くんとい 言うて、じっば(立派) ん(に)すると 言うやんかい(言います)。

りゅういんじゃく(りういんじゃく)(溜飲癪)【名詞】腹痛 特に胸やけを伴う腹痛 溜飲はむねやけの事。[会話] リユウインジャク言うな(のは)、今し(今)で言う いい(胃) な(が) のおを(のを) 言うやかな(言うのかと) 思うね(思うのです)。リユウインジャクな(が) おこつて 言うてな、こちら(上腹部) 痛めてすると よお(よく) 言よおったわい(言っていました)。そしてリユウインジャクな(が) おこつて まあ 言うてすると、つるなを 浜の 土堤や、いしかけ(石垣) 吊つとる(さがっている) やんない(でしよう) あれを リユウインジャクの薬やよつて(だから) 言うて、よお(よく) とて来よおったわい(取って来ました)。胸な(が) やけんねやなしん(やけるのでなくて) 痛みな(が) すんねやろ(するのだろうと) おもうね(思うのです)、こちら(上腹部) 押さえて しとりおったわい(していました) 今しで言うと あんで(あれで) いい(胃) な(が) 痛いのを リユウインジャク 言いおったん やかなあ(言って居たのか) 思うね、今し みたいん(のように) 名前も無いし、癪や言うて 胃癪や(とか) 言うて、今し 医者ん(に) かかると 医者な(が) 名前つけて くれんねけど(くれるのだ

が、なんも (少しも) 医者ん (に) かからせんね
よって (ないのだから) わがとらな (自分達が) 判
断して 言よおったんよってなあ (言って居たの
から)、それやもんで (それで) いい (胃) な
(が) 痛いのおを (のを) リュウインジャクな
(が) おこって 言よおったんやろ (言って居たの
でしょう)。そいな (そんな) にげ (人間) を 癩
持ちで言うてなあ そんで (それで) いい (胃) な
(が) わり (悪い) にげ (人間) を 言いおったん
やろなあ (言って居たのでしょう)。

りゅうぎ (りうぎ) (流儀) 【名詞】 やりかた しかた
[会話] あんな (彼の) リュウギや (だ) 言うね
(言うのです)。そのにげ (人間) の癖の事なあ
(です)。あんな (彼の) リュウギ なるとかな
(習っておかなければ) はざんわれ (いけない) 言
うて、言う時な (が) あんなあ (有ります)。あ
ひた (人は) リュウギな (が) 違うんよって (の
だから) 言うて 人より変った事すると。仕事の仕
方を なるとかな はざんわれ 言うて、わり (悪
い) こた (事は) 習らわんで (なくて) ええけど
(よいが)、ええ (よい) リュウギやたら (だ
たら) 習るとかな はざんね (いけないのです)。

りゅうぐ 【名詞】 竜宮 末尾の省略 (三) [会話] 竜
宮さん言うて 浦島太郎な (が) いたの (行ったの
を) リュウグ 言うやんかいなあ (言うのです)。
海の底を言うんかいなあ (言うのでしょうか)。竜
宮 言わんと (言わずに) リュウグ言うて リュウ
グさんえ (に) 参って 言うてなあ 言うね (言う
のです)。海の神さんの事言うんやろけど (言うの
でしょうが) 海の底やもんなあ (です) 竜宮城はな
あ

りゅうぐうさん 【名詞】 海 [会話] しょんがつ (正
月) の行事は かどがみさん (門松) と うちがみ
さん (神棚) と リュウグウサンと みいとこ (三
ヶ所)。リュウグウサン 言う時は 前の浜 海や
なあ (です)

りゅうぐん 【名詞】 海 (志、鳥)

りゅうと (りうと) (隆) 【副詞】 程度の甚だしいさま
リュウはリン (凜) の音便 (大言海) (尾) [会話]
リュウトしとる (して居る) 言うて、びゅうとしと
る 言うの (のです)。あひた (人は) びゅうと
しとんなあ (して居ます) びゅっとこいやなあ
(だ) 言うて、じっばんして (立派にして) 行く事
なあ (を)。洋服でも じっばなのお (のを) 着て、

帽子もじっばなの (のを) 被って しとるやろ (し
て居るでしょう) おおた (ああ) あひた (人は)
リュウトしとんのなあ 言うて、今日は どこいや
ら (何処かへ) 行くんかして (行くのか) リュウト
して いたよお (行った) 言うて、じっばん (に)
して いた (行った) 言うの (のを)。

りゅうぼく (りうぼく) (流木) 【名詞】 台風などで
紀州方面から海を流れて来る材木、運搬船の荷くず
れ 避難などによって海に落ちて流れて来る木材
[会話] 流れて来た きい (木)。リュウボクを
ひろて (拾って) 言うてな、大水な (が) 出ると
しんぐ (新宮) の川ん (に) 筏ん (に) 組んで あ
んの (有るのだ) こっちや (こちら) むいて (向っ
て) 皆流して (流れて) 来たなあ。リュウボクを
よ (け) (沢山) 拾ろて 砂 掘って 隠したり、縁の下
い (へ) 隠したり。どっさりいつ (沢山) 寄りおった
わい (居ました) リュウボクな (が)。リュウボク
をなあ ひろて (拾って) 砂 掘って 埋めてなあ、
そのなりな (騒動が) おさまってから、ほじくり
(掘り) 出して 桧やもんでなあ (なので) 挽いて
もろて (貰って) 板ん (に) すると、すばらし (す
ばらしい) もん (物) な (が) 出来んねやんかい
(るのです)。そやけど (しかし) 木挽はなあ 砂
な (が) ついとるもんで (ついでるので) 鋸のは
あ (歯) しまう (悪くする) 言うて 嫌がりおった
の (ったのです)。こじよおし (小漁師) は よお
ひろわんけど (拾わないが)、こいな (こんな) お
っきいの (大きいのを) ひろて (拾って) 一丁や二
丁 (櫓の) で こんで (漕いで) 来やれやせんやん
ない (来れないでしょう)、おっきい舟の人ら リ
ュウボクを 二、三ぼおつ (本づつ) 綱でしばって
(くくって) もてくんねやんかい (持って来るので
す)、そすとまあ 皆 刻印 押してあんね (有る
のです)。そやよって (だから) その刻印の主の人
な (が) 調べん (に) 来ると やらな (やらなければ
ば) はざんやんない (いけないでしょう)。そやも
んでなあ (それで) 砂 掘って、皆、隠しおったの
(隠して居たのです)。大水な (が) 出ると、よ (け)
ひろて きよおってなあ (来ました)、大水な (が)
出ると、しんぐ (新宮) の川から 筏な (が) 切れ
て、皆 こっちや (こちら) むいて (向って) 流れ
て来るやんない (来るでしょう) それを よお (よ
く) ひろいおったの (拾って居たのです)。

りよお (りょう れふ) (漁) 【名詞】 1) りょう 漁

海で魚介類を獲ること。またその獲物。2) 獲物の量(北) [会話] 1) 今日はリョオナ(が) 有ったとか、無かったとか。今日は不漁でなんも (全く) はざあらった (駄目だった) まあ 山からあがって来た くらいや (だ) 言うて、なんも 釣ってこんど (来ないと) じょおし (漁師) の人ら 泣きこと 言うて、あがって くよおったわい (来ました・来て居ました)。爺やら婆やら ひい (日) かして (とみえて) なんも はざあざったよお (駄目でした) 言うて きよおった (来ました)。爺やら 婆やらの ひい (日) 言うのは 年忌の事を言うんやわい (言うのです) 爺やんの しよおじび (精進日命日) やかなあ (だろうか) なんも はざあらったやらの (とが)、大漁すると 爺やんな (の) しよおじび やもんで (なので) 大漁したれ (しました) 言うて、ええ (よい) 事も、わり (悪い) 事も皆 かざけんね (かこつけます)。

りよおおや (りょうおや りやうおや) 【名詞】 両親 父と母 [会話] リョオオヤ や (です)、双親な (が) 有る家ばか (ばかり) 無いやんかい (有りません)、双親な (が) 有る家は、結婚式も 出やれるけど (出られるが) かたばね (片親) は 出やせんやんない (出ないでしょう)。そやもんで (それで) 双親な (が) そるとる (そろっている) 家から 貰わな (なければ) はざんわれ (駄目だ) 言う、いちがい (一途) な家な (が) およおったなあ (居りました)。

りよおがみさん (りょうがみさん) 【名詞】 漁師の神様。大漁をさせてくれる神様

りよおけん (りょうけん、れうけん) 【名詞】 1) 料簡 堪忍 勘弁 了見 (志(浜島)) 2) 考え 分別 考え方 [会話] 2) リョオケンな(が) わり (悪い) よって (から) 言うて、こころざし (気持) な (が) わり となあ、あのにぎや (人間は) リョオケンな わりいて (悪くて) 言うて よお (よく) 言うわい (言います)。気立のわり にげ (人間) をなあ リョオケンな わり よって (から) あや (彼は) 出世しやせんわれ (しない) 言うてなあ。

りよおけんする (了見) 容赦する 我慢する りょうけん、料簡 了見 気持 思案 よく考えて判断する 許す 処置 とりはからい [会話] こらいてくれ 言う事を、リョオケンシテクレ 言うやんかい (言います)。許して下さい 言う事を。あげな

事 (あんあ事) 言うたけど (が、けれど) リョオケンシテクレエ (下さい) おんな (俺が) わりかった (悪かった) よってん (から) 言うて、こらいて (こらへて) くれ (下さい) 言う事なあ (です)。

りよおけんならん 許せない。許す事が出来ない。
(志(布施田))

りよおし (りょうし れふし) (漁師) 【名詞】 魚釣り [会話] わしげ (私の家) の とおさん (父さん) リョオンな (が) 好きで 浦へ むし (ごかい) 掘り ん (に) 行きおった (行って居ました)。

りよおじ (りょうじ) 【名詞】 漁獲高 [会話] リョオジな (が) のおて (無くて) 言うてな、大漁の無い事 リョオジな (が) のおて 言うて、今年、まあ、リョオジな (が) よおて (よくて) 大漁やった とか (だった)、リョオジな (が) のおて なんも (全く) はざあざった (駄目だった) とか言うてなあ。

りよおじ (りょうじ れうち) 【名詞】 治療 (志(浜島))

りよおとおづかい (りょうとうづかい りやうたうづかひ) 【名詞】 両刀使い 酒も菓子も好む人 [会話] 甘いもん (物) くうし (食べるし)、苦いもん (酒) も飲むのなあ (です)。リョトツカイやなあ (だ) あや (彼は) 言うて、酒のおで (飲んで) おって (居て) 牡丹餅 くよおったわい (食べて居ました)。

りよおどこ (りょうどこ) 【名詞】 漁業を生活の手段としている所 (度) [会話] 漁師所 此処らみたい な (のような) のな (のが)、漁師ばっかの なあ (ばかりのです)。熊野のうい 行くとなあ リョオドコ やよってん (だから) 言うて、じょおし な (漁師が) 休むと なんも (全く) 食われんで (食べられなくて) 茶碗持って 米、買い ん (に) いたり (行ったり)、とふ (豆腐) でも 三銭 出すとど いらい (大きな) とふ な (豆腐が) 一丁 買われ よおった (買えました)。それを 一銭 や (だ) 言うて、切り売りで かいい ん (買いに) 行きおったの (行って居たのです)。一丁を三つ 割って 買いおったの (買って居たのです)、おつけい入れるだけ。漁 な (が) 有る時 や (は) どんと買うし 無い時 や (は) 小皿で味噌買 い ん (に) いたり (行ったり) すんね (するのです)。

りよおば (りょうば れふば) (漁場) 【名詞】 漁をする場所

りよおび (漁日) 【名詞】 漁をする日に適した日 晴

天(志、鳥(石鏡)、鈴郡) [会話] リョオビ言う
と 天気のええ(よい) ひい(日) なあ(です)。
上日の事を言うね(言うのです)。風な(が) ええ
ひいを、今日は沖日やなあ(だ) 言うて 天気のエ
え 風のエえ(よい) ひい(日) を 言うねわい
(言うのです)。上日で沖行くのんなあ(に) ええ
ひい やもんで(なので)、沖日や(だ) 言うてな
あ それを リョオビや(だ) 言うね(言うので
す)。漁すんのん(するのに) ええ ひいや(日
だ) 言うのなあ(です)。今日は 沖日やなあ
(だ) 言うて 起きん(る) のん(のに) 気な
(が) ええと(よいと)。

りょおびんずら(りやうびんづら)【名詞】 両方の類、
又両方の類を張られる事

りょおふね(りょうふね れふふね)【名詞】
大勢の水夫の乗る漁船 [会話] 漁する リョオフ
ネの事やろなあ(でしょう)。漁師を、じょおし言
うよおん(ように)、海女さんの舟とか 一本釣りの
舟とか そいなやなしん(そんなのでなくて)、
どいらい(大きい) 十人とか二十八人とか乗って行
きおったやんかい(行ったで有りませんか) それを、
リョオフネ言うて

りょおぶん(りょうぶん りゃぶん)【名詞】 1) 取
り高 給与 2) 勢力範囲 [会話] 1) 俺家の リ
ョオープン言うて、よお(よく) 言うやんかい(言
います)。こんだけ(これだけ) 俺家のリョオープンや
(だ)、俺家の当りや(だ) 言う事をなあ。分けて
有ってなあ こんだきや(此れだけ)は 俺家の リ
ョオープンで、こんだきや お前家のリョオープンで
言うて。2) 荒布 かずいてもなあ(採っても) 干す
ばあ(場) とんのをなあ(取るのを) こや(これ
は) 俺家の リョオープンやどお(だ) 言うて分けて
なあ 当たったこ(所)。

リョオマチ【名詞】 リユウマチ(一、松、張、南)

**りょおりかた(りょうかた れうりかた)。りょおり
にん。りょおりばん【名詞】** 料理をする人。宴会な
どの料理をする総責任を負う人。[会話] なんを
(何を) おいくら(どれ程) して、買うもん(物)
から なんから 全部して、にげな(人間が) こん
だけや(此れだけ) 言うて、こんだけ こおて
(買って)、鮓をこんだけ 巻いて 刺身をいくて
びき(皿) かして 言うて、そおゆう計算すんのを
(するのを)、あの人な(が) リョオリカタやよっ

て(だから) 言うて、責任持って しとり(一人)
してくれる 人な(が) あるわい(有ります) なん
もかも ちゃんとして そいなのおを(そんなの
を) リョオリカタ。

りょおる(りょうる れうる)【他ラ五】 料理する。
料理を活用させた語。(広辞苑) (桑市、安、津、上、
阿、南)

りん(鈴)【名詞】 時刻を知らせるベル。鈴の唐音
(大言海) [会話] リンな(が) 鳴って来た、はよ
(早く) 起きよ言うて、ねぶたいのん(眠いの)
くそやかまし リンも取ってほったろん(放つてや
る) 言うて、五時ん(に) になると 起きよ 言うて
リン振ってくんね(来るのです)。じんじよがっこ
(小学校)でも ばあ(婆)な(が) 鳴らしおった
やんかい(鳴らして居たで有りませんか)。

りんき(格気)【名詞】 嫉妬(志(浜島、御座、布施
田)、鳥(国崎、答志)) [会話] リンキ、やきもち、
リンキする程持てもせん 言うて。かかまあ(妻は)
わが(自分の) とた(ととは、夫は) じっぱな(立
派だ) おもて(思つて) リンキしてすると かか
な(が) やく程 持てはせん言うて。

りんぎ(凜議)【名詞】 集まりて相談する事 ヒンギ
の慣用語(広辞苑)

りんげつ(臨月)【名詞】 出産するべき月。妊娠十ヶ
月

りんだま(厘玉)【名詞】 3mm 以下の小さい真珠
[会話] リンダマ 真珠のちっちゃあいのなあ(小
さいのです)、リンダマは 一年 一年で あげた
る(採取する) もんで(ので) こやこや(始めて)
の家らは リンダマ ばっか(ばかり) しいおった
(していました)。

りんどく(淋毒)【名詞】 淋病になる毒

りんりき。りんりきしゃ【名詞】 人力車(志(鶴方、
神明、立神、甲賀、国府)、鳥(鳥羽、坂手)、員、
三、鈴市、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、
度、伊、南、熊、尾) [会話] リンリキシャを リ
ンリキを引きおったなあ(引きました)、和具で一
軒なあ しよおった(して居ました) 人力車言うて
な

りんりん【名詞】 こおろぎ